

第 106 期 株主通信

化学のオドロキ、
未来のトキメキ。



TOAGOSEI

2018年1月1日から2018年12月31日まで

東亜合成株式会社

01 株主の皆様へ

05 特集：化学の力で豊かな社会を
～企業理念改定～

07 トピックス

09 セグメント別概況



代表取締役社長
高村 美己志

ポイント

- 2018年は原燃料価格の上昇や一部製品の需要減退の影響などから増収減益決算
- 設備投資は高付加価値製品を中心に積極実施
国内外の新・増設設備は、順次、稼働開始
- 年間配当金は、1株当たり2円増配の28円
次期配当金も増配を予定

Q | 当期(2018年12月期)の概況についてお聞かせください。

A 当連結会計年度(2018年1月1日から2018年12月31日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境は着実に改善しましたが、年後半にかけて輸出に陰りが見られるなど景気の伸びに力強さを欠く展開となりました。世界経済は、米国経済は概ね好調に推移しましたが、米中貿易戦争に代表される保護主義の高まりや金融資本市場の変動などから先行きに対する不透明感が増しました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、緩やかに回復する国内景気を背景に汎用製品の需要は底堅く推移しました

が、一方、原燃料価格の上昇や年後半から顕著となった一部のエレクトロニクス関連製品の需要減退などが利益を圧迫する要因となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は1,500億6千6百万円(前期比3.7%増収)、営業利益は164億8百万円(前期比6.0%減益)、経常利益は174億3百万円(前期比5.9%減益)、親会社株主に帰属する当期純利益は127億4千8百万円(前期比1.3%減益)となりました。

Q | 次期の見通しについてお聞かせください。

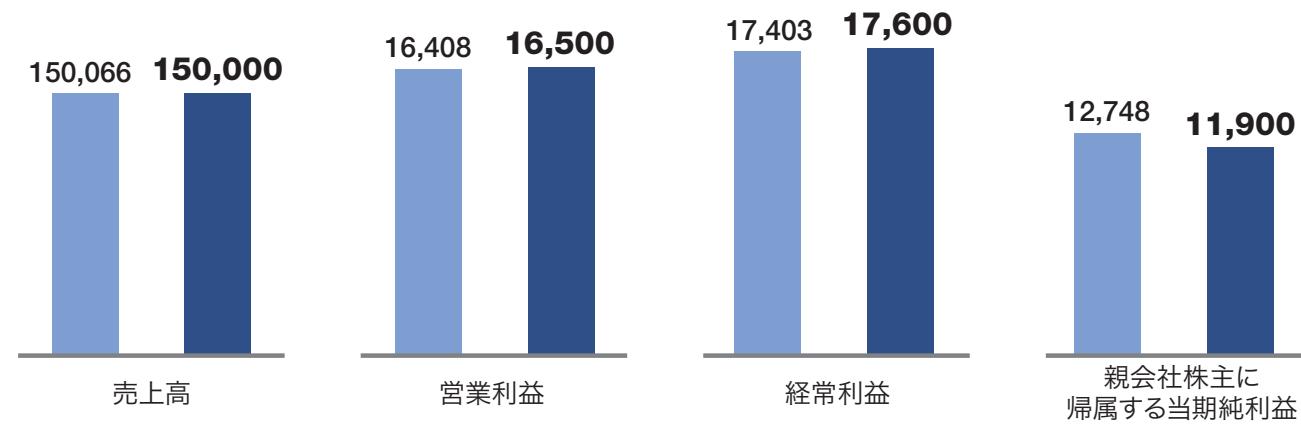
A 今後の見通しにつきましては、世界経済は、米国を起点とする保護主義の高まりや中国経済の減速、英国のEU離脱(BREXIT)の行方など2018年から積み残された諸問題がより先鋭化し、不透明感の強い状況が続くと見込まれます。日本経済は、雇用環境の改善が続くと期待されますが、グローバル経済の変調や10月に予定されている消費税増税などが実体経済に及ぼす影響が懸念されます。また、化学業界におきましては、原油をはじめとした資源価格の変動や米国のシェール由来化学製品の輸出入動向、また中国をはじめとした各国環境規制の動きなど先行きを見通し難い状況が続くと予想されます。

このような中、当社グループは、事業環境の変化に柔軟に対処しつつ、本年を最終年とする中期経営計画「成長への軌道2019」で掲げたアクションプランを着実に実行し、新製品・新事業の創出と海外事業の拡大に拍車をかけてまいります。

2019年12月期通期の業績につきましては、売上高は1,500億円(前期比0.0%減収)、営業利益は165億円(前期比0.6%増益)、経常利益は176億円(前期比1.1%増益)、親会社株主に帰属する当期純利益は119億円(前期比6.7%減益)を予想しております。

2019年12月期連結業績予想

■ 2018年12月期実績 ■ 2019年12月期見通し (単位:百万円)



予想数値には、本決算発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、本誌数値と異なる可能性があります。

Q | 対処すべき課題をお聞かせください。

A 当社グループは、2018年11月、企業理念の改定を発表し、未来に向けての役割と目指すべき姿を明確にいたしました(詳細は05-06ページの特集をご参照ください)。

中期経営計画「成長への軌道2019」の中間年である2018年は、タイの子会社(トウアゴウセイ・タイランド)において第1期プロジェクト(アクリルポリマー)の工場が稼働を開始し、引き続き第2期プロジェクト(エラストマーコンパウンド)の工場建設に取り掛かりました。国内の工場におきましては、アクリルポリマーや光硬化型樹脂などのアクリル川下製品や高純度無機化学品、無機機能材料などについて将来の成長に向けての積極的な設備投資を行い、中期経営計画「成長への軌道2019」に掲げたアクションプランは着実に進展いたしました。

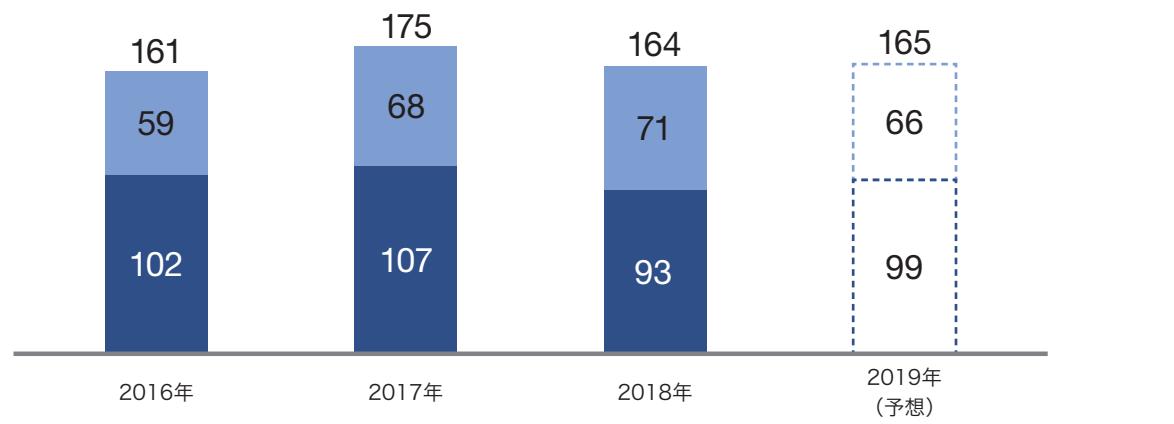
中期経営計画「成長への軌道2019」の最終年となる本年は、新製品・新事業の創出、海外事業展開の加速、業務変革および生産性の向上、社員が力を発揮できる環境の整備、CSR活動の深化を重要課題として設定し、これまで実施してきた投資案件の早期利益貢献を図ります。



トウアゴウセイ・タイランド全景写真(2019年2月撮影)

高付加価値製品、汎用製品の営業利益の推移

■ 高付加価値製品 ■ 汎用製品



Q | 利益配分についてお聞かせください。

A 利益配分につきましては、当事業年度の業績、今後の事業展開、業績の進展等を総合的に勘案して、株主の皆様への安定的な利益還元を努めることを基本方針とし、当期の1株当たりの年間配当金は、前期比2円増配の28円(期末配当金は前期比1円増配の14円)といたしました。

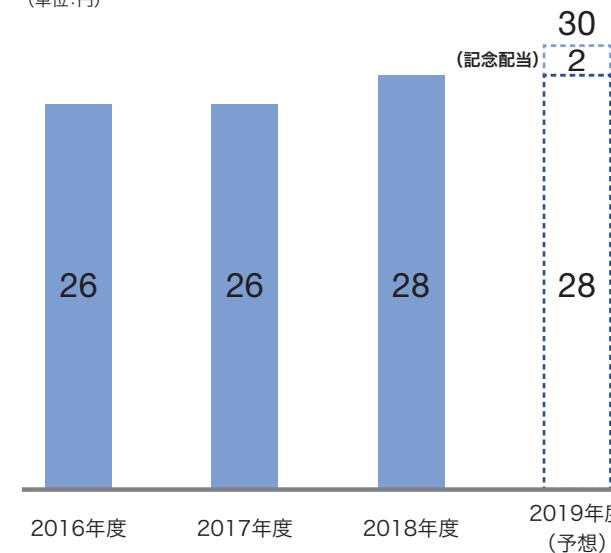
また、2019年12月期以降の株主還元につきましては、2018年12月、連結配当性向30%以上を目標として安定的な配当を継続することを基本方針とし、経営体質の強化および内部留保の充実ならびに今後の事業の展開・進捗等を総合的に勘案して決定することを、発表いたしました。

次期配当金につきましては、本基本方針や2019年12月期連結業績予想などに基づき、1株当たりの年間配当金は、普通配当金を28円とし、これに当社創立75周年記念配当金2円を加えた計30円(配当性向33.2%)とさせていただきます。

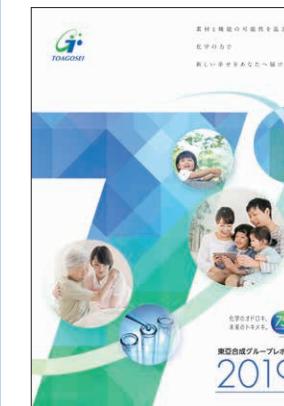
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

1株当たり年間配当金の推移

(単位:円)



「東亜合成グループレポート2019」を発行しました。



東亜合成グループの経営戦略やCSR活動を分かりやすく紹介する「東亜合成グループレポート2019」を発行し、当社ホームページに掲示いたしましたので、ご覧ください。

冊子をご希望の方は、当社IR広報部までご請求ください。

企業理念 (普遍的理念)

素材と機能の可能性を追求し、
化学の力で
新しい幸せをあなたへ届けます。

宣言 (企業理念を実現するための決意)

私たちが届けていくもの。
それは高機能な素材が創り出す社会の新しい可能性、
人々のこれからの幸せ。

私たちは、挑み続ける。
築いてきた技術を活かし、新しい領域に向き合い、
自分たちにしか創れない確かな価値を生み出すために。

私たちは、動き続ける。
あなたと共に生きる企業として様々な変化を読み解き、
化学で社会をリードしていく存在になるために。

企業 理念
普遍的 理念



宣言
企業理念の 決意・意志



行動 指針
理念実現の ための行動

これまでの企業理念は1994年の創立50周年を機に制定され、経営活動の根幹を成すものとしてグループの成長を支えてきましたが、制定から四半世紀が経過し、BPR(ビジネス・プロセス・リエンジニアリング)の推進、グループ化・グローバル化の進展など企業経営を取り巻く環境は大きく変化し、さまざまな形で経営パラダイムがシフトしてきています。

こうした中、東亜合成グループの将来の姿はどうあるべきか、維持すべき価値観、付加すべき価値観は何か、社会とともにどのように成長するべきなのかを検討し、創立75周年を機に経営理念を見直し、未来に向けての役割と目指すべき姿を明確にしました。

行動指針 (日々の企業活動で実践すべき行動の基準)

- 先見** 未来を思い描き、
優れたキーマテリアルを創り出す。
- 挑戦** 強い意志と自由な発想で、
可能性を切り拓く。
- 連携** 顧客やパートナーと共に、
新たなビジネスを生み出す。

東亜合成創立75周年プロジェクト

企業理念の改定と合わせ75周年のロゴとスローガンを新たに作りました。スローガンは、化学の無限の可能性から生まれるオドロキを、新しい価値の創造を通じて、人々の未来にトキメキ（幸せ）を届けたいという想いを示しています。また、CSR活動の強化とスポーツ協賛による当社グループの知名度アップを図るため、Tリーグ（T.LEAGUE）のオフィシャルスポンサーとなりました。Tリーグの活動を支援することで、未来のアスリートの育成とスポーツ文化の振興に貢献してまいります。

化学のオドロキ、
未来のトキメキ。



©T.LEAGUE

トウアゴセイ・タイランド プロジェクト進捗

2018年8月、第1期プロジェクトであるアクリルポリマー工場が稼働を開始したのに続き、第2期プロジェクトであるエラストマーコンパウンド工場の建設工事がスタートしました。また、アロン化成の初めての海外拠点となるアロンカセイ・タイランドも開設し、成長著しいアジア地域におけるアロン化成製品の販売拡大に取り組んでいます。



第2期プロジェクト起工式

アロンアルファ®若者応援WEB動画公開

若年層の皆様の認知度向上を図るため「ターゲットとなる若者から支持を得る」ことを追求し、作成されたのがWEB動画です。この動画は大反響を呼び、第3弾まで作成、公開され、再生回数は2,000万回を超えました。また「君に、くっつけ!」は「2018 58th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」など3広告賞4部門で表彰されました。



第1弾：君に、くっつけ!



第2弾：接着ナイン!



第3弾：ツキの神様!

健康経営優良法人2019(ホワイト500)認定取得

当社は、2019年2月に「健康経営優良法人2019（ホワイト500）」に認定されました。本制度は、経済産業省が経済界・医療関係団体・自治体のリーダーから構成される日本健康会議と共同で実施し、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。

当社グループは、健康経営推進を掲げ、2018年からは特に従業員の健康保持・増進に向けた取り組みを進めてきました。今後も、従業員一人ひとりの心身の健康を大切な財産と捉え、健康経営の実践強化に取り組んでいきます。



2019
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

アロンアルファ®新製品紹介

2018年10月、アロンアルファ®の新製品となる「シューゲー®×アロンアルファ®」を発売しました。この製品は多くの方がアロンアルファ®で靴を補修しているというデータに着目し企画された製品で、靴用補修剤で有名な「SHOE GOO®」とのコラボレーションにより実現しました。「シューゲー®×アロンアルファ®」は、靴チェーン店やホームセンターの靴用品売り場など、これまでアロンアルファ®を目にする事の少なかった売場に展開しています。より多くの方にアロンアルファ®を手に取り、使っていただきたいと考えています。



アロン化成の新製品「イコットエア」

2019年、安寿ブランド誕生から25周年を迎えるにあたり、安寿デザインのアイデンティティを取り入れた歩行車「イコットエア」を発売しました。名前には外に「行こっ」と、ご利用者が外出したくなる気持ちへの想いを込めました。また、歩行車の中でも最軽量クラスの3.9kgという製品重量を実現し、ご利用者お一人での外出をサポートいたします。

●アロン化成の介護用品は介護ショップ等でお買い求めいただけます。



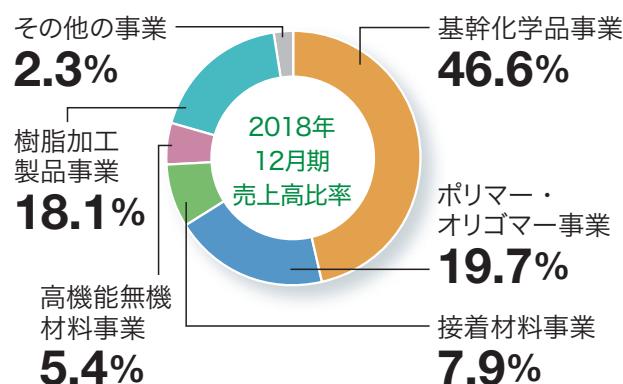
セグメント別売上高・営業利益

(2018年12月期)

	売上高	営業利益
基幹化学品事業	69,908	6,654
ポリマー・オリゴマー事業	29,506	2,977
接着材料事業	11,914	2,567
高機能無機材料事業	8,095	2,548
樹脂加工製品事業	27,167	1,427
その他の事業	3,474	233

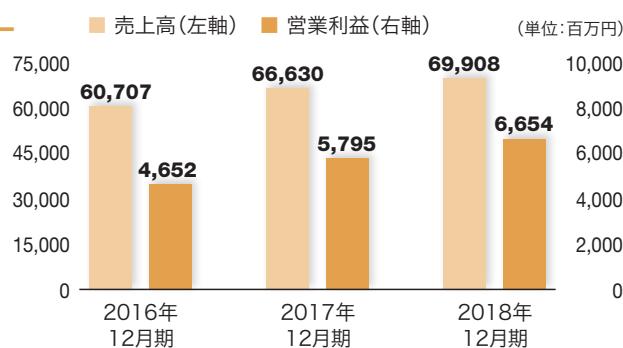
(百万円)

セグメント別売上高比率



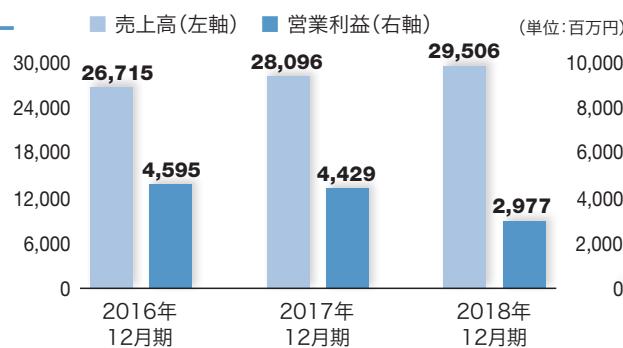
基幹化学品事業

電解製品は、一般的に販売数量が堅調に推移するとともに、年前半に実施したカセイソーダの販売価格が正が寄与し増収となりました。アクリルモノマー製品は、シンガポール子会社において一部製品の生産を停止した影響などから販売数量は減少しましたが、原料価格の上昇に伴う販売価格の是正を行い増収となりました。工業用ガスは、底堅い国内需要により増収となりました。



ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、リチウムイオン二次電池向けや化粧品原料などに使用される高付加価値製品の販売が拡大し増収となりました。アクリルオリゴマーは、国内外の市場において販売が好調に推移し増収となりました。高分子凝集剤は、販売数量が増加したほか販売価格の是正を進めたことなどから増収となりました。



接着材料事業

瞬間接着剤は、コンビニエンスストア向けや工業用途向けなど国内販売は堅調に推移しましたが、海外市場における販売減少などが影響し減収となりました。機能性接着剤は、高機能情報端末向けなどに使用される反応型接着剤の需要は低調でしたが、自動車関連材料向け製品の販売が底堅く推移したことなどから増収となりました。



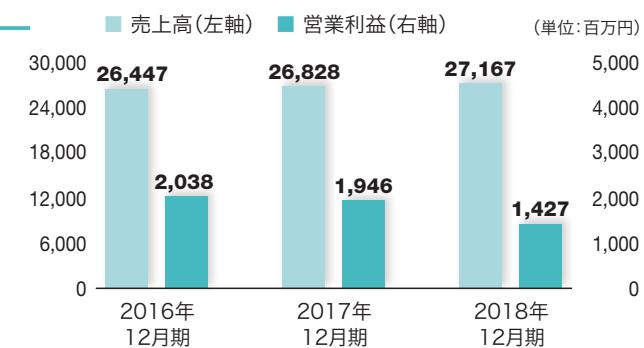
高機能無機材料事業

高純度無機化学品は、旺盛な半導体需要が継続し液化塩化水素など高純度製品の販売数量が増加したことなどから増収となりました。無機機能材料は、無機抗菌剤の輸出減少やエレクトロニクス関連製品の出荷が低調に推移したことなどが影響し減収となりました。



樹脂加工製品事業

管工機材製品は、夏場の天候不順による工事遅延や販売競争激化の影響などから減収となりました。建材・土木製品は、受注物件数の増加などから増収となりました。ライフサポート製品は、新製品の販売が寄与したことなどから増収となりました。エラストマーコンパウンドは、販売数量の増加などから増収となりました。



貸借対照表

(単位:百万円)

	前期末 (2017年12月31日)	当期末 (2018年12月31日)	増減額
流動資産	137,273	142,712	5,439
固定資産	102,064	99,259	△ 2,805
① 資産合計	239,338	241,971	2,633
流動負債	37,032	34,847	△ 2,185
固定負債	14,818	15,828	1,010
負債合計	51,850	50,675	△ 1,175
純資産	187,487	191,296	3,809
負債純資産合計	239,338	241,971	2,633

損益計算書

(単位:百万円)

	前期 (自2017年1月1日 至2017年12月31日)	当期 (自2018年1月1日 至2018年12月31日)	増減額
売上高	144,708	150,066	5,358
売上総利益	42,601	42,187	△ 414
販売費及び一般管理費	25,148	25,779	631
② 営業利益	17,453	16,408	△ 1,044
経常利益	18,492	17,403	△ 1,089
特別損益	203	89	△ 114
③ 親会社株主に 帰属する当期純利益	12,911	12,748	△ 162

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前期 (自2017年1月1日 至2017年12月31日)	当期 (自2018年1月1日 至2018年12月31日)
④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	15,166	19,841
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 23,186	△ 11,910
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,047	△ 4,908
現金及び現金同等物の期末残高	42,136	44,990

POINT ①

資産合計は「現金及び預金」および「機械装置及び運搬具」などが増加しましたため、前期末に比べ26億3千3百万円増加し、2,419億7千1百万円となりました。

POINT ②

営業利益は、一部製品において原材料費などの変動費上昇分の価格転嫁が遅れたことや積極的な設備投資に伴う固定費負担の増加などから、前期に比べ10億4千4百万円減少し、164億8百万円となりました。

POINT ③

親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等調整額の減少などから、前期に比べ1億6千2百万円減少し、127億4千8百万円となりました。

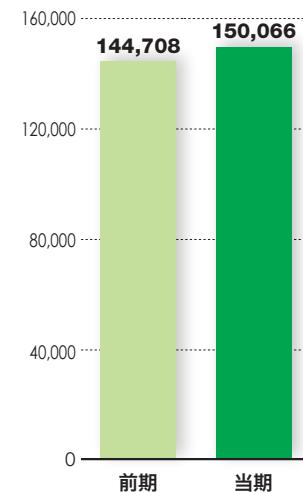
POINT ④

営業活動におけるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額が減少しましたため、前期に比べ収入が46億7千5百万円増加し、198億4千1百万円の収入となりました。

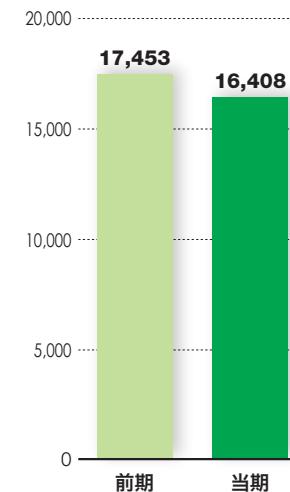
2018年12月期(当期)

(単位:百万円)

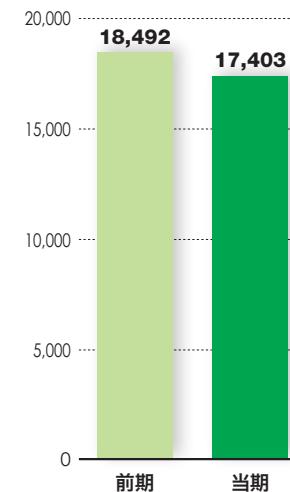
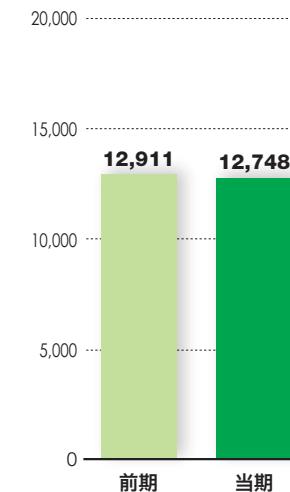
売上高



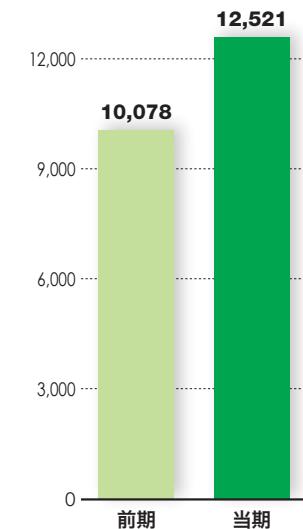
営業利益



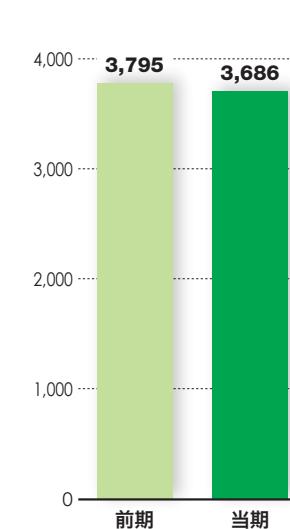
経常利益

親会社株主に帰属する
当期純利益

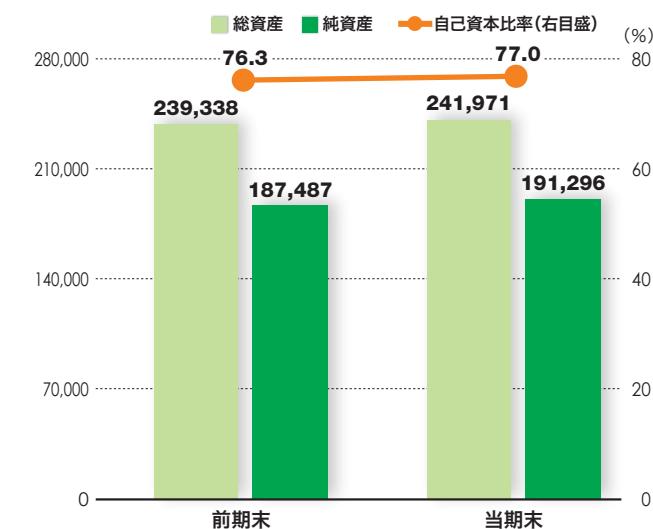
設備投資額



研究開発費



総資産・純資産・自己資本比率

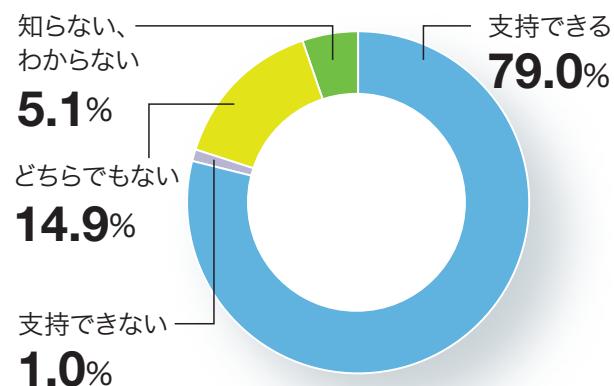


「第106期中間株主通信」でお願いしましたアンケートの結果を下記のとおりご報告いたします。

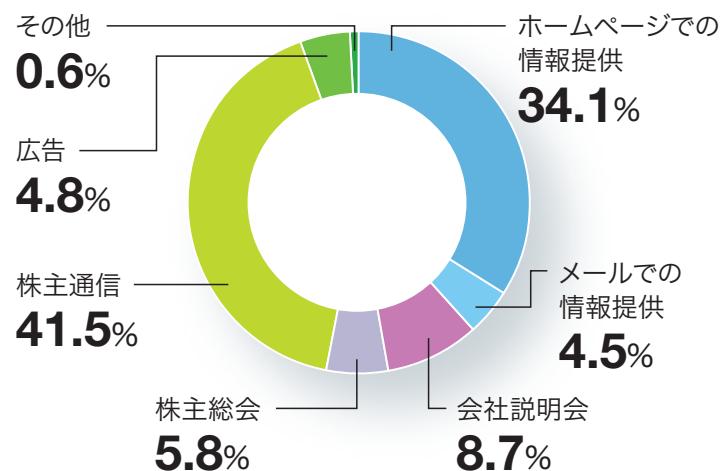
ご協力いただきました皆様に御礼申し上げますとともに、皆様からいただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の経営に反映させてまいります。

■ アンケート結果

当社経営方針への支持度をお聞かせください。



当社のIR活動について、特に充実を希望されることは何ですか。



■ 株主の皆様からのご意見・ご要望Q&A



Q

設備投資の状況を教えてください。

A. 2018年の設備投資額は、国内ではアクリルポリマーや高純度無機化学品などの高付加価値製品や管工機材製品など、また海外ではトウアゴウセイ・タイランドでの第1期、第2期プロジェクトなどについて積極的な設備投資を行い、2017年に続いて100億円を超えました。2019年も、将来の成長に向けて100億円を超える高水準の設備投資を行う予定です。



Q

研究開発に期待しています。

A. 当社グループは、中長期的な観点に立った研究開発テーマの創出と早期実績化、顧客動向に基づく継続的な新規テーマの発掘および一人ひとりの自律的成長による研究開発力の強化を基本方針に効率的な研究開発に取り組んでいます。2018年は、リチウムイオン電池用特殊ポリマーや高速通信に対応する低誘電性接着フィルムの開発が進展しました。2019年も研究開発人員を増員し、スピードアップを図ります。

会社概要

本店所在地 / 〒105-8419 東京都港区西新橋一丁目14番1号
電話 (03)3597-7215(代表)

創立 / 1944年7月17日

資本金 / 20,886百万円

従業員 / 連結2,429名
単独1,197名

取締役 (2019年3月28日現在)

代表取締役社長	高村 美己志
代表取締役副社長	石川 延宏
取締役	伊藤 克幸
取締役	鈴木 義隆
取締役	兼定 盛幸
取締役	美保 享
取締役	杉浦 伸一
社外取締役	中西 智博
社外取締役	小池 康博
社外取締役	北村 康央
取締役(監査等委員)	小峰 朗力
社外取締役(監査等委員)	原田 力
社外取締役(監査等委員)	高野 信彦
社外取締役(監査等委員)	石黒 清子
社外取締役(監査等委員)	安田 昌彦

株主メモ

- 事業年度 …… 毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会 …… 毎年3月に開催
- 基準日 …… 定時株主総会・期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年6月30日
- 公告の方法 …… 電子公告の方法により行います。
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞(東京)に掲載します。
公告掲載URL(<http://www.toagosei.co.jp/>)

株式の状況

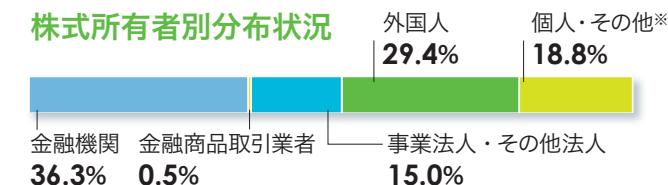
発行可能株式総数	275,000,000株
発行済株式総数	131,996,299株
株主数	16,334名

大株主の状況

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,340	5.58
株式会社三井住友銀行	5,818	4.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,527	4.20
東亜合成取引先持株会	4,314	3.28
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE THE KILTEARN GLOBAL EQUITY FUND	3,921	2.98
東亜合成グループ社員持株会	2,830	2.15
株式会社三菱UFJ銀行	2,824	2.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,408	1.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,324	1.77
THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT	2,014	1.53

出資比率は、自己株式(366,613株)を控除して計算しております。

株式所有者別分布状況



※「個人・その他」には自己株式が含まれております。

- 株主名簿管理人 …… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関 …… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 …… 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) **0120-782-031** (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

ご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

各種手続用紙のご請求について(特別口座の株主様)

以下の手続用紙のご請求については、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社のインターネットで24時間お受けしております。

■ホームページアドレス

<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

- ・ 口座振替申請書
- ・ 単元未満株式買取請求書
- ・ 配当金振込指定書(特別口座用)
- ・ 変更届(住所・氏名・届出印等)

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

「配当金計算書」について

配当金のお支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねており、確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告を行われる株主様は、大切に保管してください。

当社Webサイトをぜひご覧ください

TOAGOSEI
ENGLISH | ニュース | お問い合わせ | サイトマップ

会社情報 製品情報 株主・投資家情報 CSR 研究開発 採用情報

化学のオドロキ、
未来のトキメキ。

75th
Anniversary

会社情報 About us 製品検索 Product Search **個人投資家の皆さまへ For Individual Investors** 採用情報 Career

基礎化学品事業 ポリマー・オリゴマー事業 接着材料事業 高性能無機材料事業 樹脂加工製品事業

個人投資家の皆さまへ

TOAGOSEI
ENGLISH | ニュース | お問い合わせ | サイトマップ

会社情報 製品情報 株主・投資家情報 CSR 研究開発 採用情報

ホーム > 株主・投資家情報 > 個人投資家の皆さまへ

個人投資家の皆さまへ

東亞合成を知る

会社紹介快報 業績甲わかり 東亞合成の強み 今後の成長戦略

東亞合成の会社概要を映像でご紹介します。

過去3年分の業績甲わかりをご紹介します。

東亞合成の強みやポイントをご紹介します。

将来を見据えた東亞合成の活動を紹介します。

当社グループの強み、今後の成長戦略を紹介

<http://www.toagosei.co.jp/ir/individual/>

東亞合成Webサイトトップページ

<http://www.toagosei.co.jp/>

東亞合成

検索